

公民

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	公共	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	1年
教科書	高等学校 新公共(第一学習社)	副教材	なし

学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。
------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ノート</li> <li>・課題提出 等</li> </ul>
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ノート</li> <li>・課題提出 等</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート 等</li> </ul>

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1編 公共の扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。</li> </ul>
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	
2 学 期	第2章 政治的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</li> <li>・よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。</li> </ul>
	第3章 経済的な主体となる私たち	
3 学 期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</li> <li>・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。</li> </ul>

その他	
-----	--

<様式1>

地理歴史

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	歴史総合	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	2年
教科書	明解 歴史総合 (帝国書院)	副教材	なし

学習 目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。
----------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ノート</li> <li>・課題提出 等</li> </ul>
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ノート</li> <li>・課題提出 等</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート 等</li> </ul>

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	1部 歴史の扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。</li> <li>・産業社会と国民国家の形成を背景として人々の生活や社会の在り方が変化したことを扱い、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。</li> </ul>
	2部 近代化と私たち	
2 学 期	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治、外交、経済、思想や文化などの様々な面で国際的な結び付きが強まり、国家間の関係性が変化したことや個人や集団の社会参加が拡大したことを背景として、人々の生活や社会の在り方が変化したことを扱い、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。</li> </ul>
	4部 グローバル化と私たち	
3 学 期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術の革新を背景に人・商品・資本・情報等が国境を越えて一層流動するようになり、人々の生活と社会の在り方が変化したことを扱い、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて考察し、現代的な諸課題の形成に関わるグローバル化の歴史を理解するとともに、考察、構想して探究し、現代的な諸課題を理解する。</li> </ul>

その他	
-----	--

地理歴史

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	地理A	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	3年
教科書	高校生の地理A(帝国書院)	副教材	なし

学習目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	・学習活動への取り組み ・課題・提出物の状況
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	・定期考査 ・課題・提出物の内容
資料活用の技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けている。	・定期考査 ・課題・提出物の内容
知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題 1章 旅からとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえる。</li> <li>地形や気候の特徴と、その利用方法やそれらがみられる地域の人々の生活との関わりについて理解するとともに、グローバル化が進む世界についてその影響を考察する。</li> <li>世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解するとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察する。</li> <li>さまざまな課題を地球的及び地域的視野からとらえ、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解し、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察する。</li> </ul>
	2章 世界の自然環境と文化	
2 学 期	3章 世界の諸地域の生活・文化	
	4章 地球規模で広がる課題	
3 学 期	第2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りにある地図の収集や地形図の読図、目的に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付ける。</li> <li>我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解するとともに、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察する。</li> <li>生活圏の諸課題を地域調査や地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する。</li> </ul>
	2章 日本の自然環境と防災	
	3章 身近な地域の課題と地域調査	

その他	
-----	--

地理歴史

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	日本史A	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	3年
教科書	高等学校 改訂版 日本史A(第一学習社)	副教材	なし

学習 目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
----------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
関心・意欲・態度	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	・学習活動への取り組み ・課題・提出物の状況
思考・判断・表現	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見出し、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・定期考査 ・課題・提出物の内容
資料活用の技能	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	・定期考査 ・課題・提出物の内容
知識・理解	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1部 私たちの時代と歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身の経験と関連させながら2000年代以降の社会のようすを理解する。</li> </ul>
	第2部 近現代の日本と世界 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移	
2 学 期	第2章 両大戦をめぐる国際情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを理解する。</li> <li>明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。</li> <li>第一次世界大戦に日本が参戦した意図、日本の外交方針の推移について理解する。</li> <li>軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。</li> </ul>
	第3章 現代の日本と世界	
3 学 期		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の日本がかかえる諸課題について、国際社会での役割、国内的な問題という面から理解する。</li> <li>現在の私たちと関係の深い歴史的な事柄を題材として、その課題を追究し、成果をまとめ発表する。その際に、これまでの学習の成果として、さまざまな題材が資料となることを理解しながらすすめる。</li> </ul>

その他	
-----	--